

# 10月30日（水）おちば 落ち葉さん

きのう、**くさ**むしりや**おちば**ひろい、本当にありがとうございました。

がっこうがきれいになりました。扇っ子の**かん**パワーを感じて、うれしくなりました。

さむくなってきたので、これからも木から**は**葉っぱが、たくさん**お**落ちる日が続くでしょう。葉っぱが落ちて寂しそうな木が、増えてくるでしょう。

さて、先日のことです。他の**ほか**がっこうに出張**しゅっちょう**に行ったときに、**は**葉っぱが**お**落ちた**こども**を見ました。「**おちば**さん」と呼ぶことにします。

どんな子かというと、言葉から葉っぱが落ちてしまっている子です。

こうちょうせんせい**み**お**おちば**は、ノートを忘れてしまったようです。先生に「ノートを出して下さい」と言われました。当然ですね。

みな**みな**さんだったら、どう**こた**えますか。扇**おうぎ**小の皆さんならば、「すみません。今日はノートを、**いえ**家に、**わす**忘れてしまいました。別のノートに**か**書いてもいいですか？」と言いますよね。しかし「**おちば**さん」は、**ことば**言葉から**は**葉っぱが落ちてしまっていて、なんと、「**いえ**家」とだけ**こた**答えたのです。

信じられますか。先生に「ノートを出して下さい」と言われて、「家」

しか言わない。これが「落ち葉さん」です。

その学校には、別の「落ち葉さん」もいました。

廊下で先生に「どうしたのですか？」と聞かれた時、「保健室」と

しか言わないのです。完全に言葉の葉っぱが落ちまくっています。

扇っ子の皆さんだったら「お腹がいたくて、保健室に行くところ

です。先生にちゃんと行ってきました」くらいは、最低でも言います

よね。

言葉が落ちてしまう「落ち葉さん」に、扇小の皆さんだけには、

なってほしくありません。扇小には「落ち葉さん」はいません。そ

う信じているので、今日は放送で話しました。終わります。